

性犯罪に注意しましょう

平成30年の市内の性犯罪発生認知件数は3件で、前年と比べて5件減少しています。

性犯罪は、被害に遭うと身体的にも精神的にも大きなダメージを受けてしまいます。自分の身を守るためには、「自分は大丈夫」という考えは危険です。日頃からの防犯を心がけましょう。

日常の防犯ポイント

◆帰宅時

性犯罪被害の多くは10代から20代までの女性です。被害の時間帯は周囲の目が少なくなる夕方から深夜、明け方にかけての被害が目立っています。

①一人で歩くときは警戒モードに切り替える

犯人はあなたの際を狙っています。ときどき振り返って警戒をアピールすることが大切です。

②明るくて人通りの多い道歩く

性犯罪の多くは人目につきにくい場所で発生しています。多少遠回りだとしても、明るくて人通りの多い道歩きましょう。

③防犯ブザーを持ち歩く

事件に巻き込まれた場合、怖くて大声が出せないこともあります。防犯ブザーはバックの外側につけて、緊急時に備えましょう。

◆自宅

性犯罪が起こる場所は路上だけではなく、犯人は自宅に着いて、安心したところを狙っています。

①エレベーターで油断しない

エレベーターに乗る際は周囲を見渡せ、非常ボタンがすぐに押せる場所に立つことが大切です。もしも同乗者が怪しいと思ったら、すぐに降りましょう。

②玄関に着いたときでも油断しない

玄関ドアを開けた瞬間も油断しやすく狙われています。帰宅時はドアを開ける前に周囲を再確認し、靴を脱ぐ前に鍵をかけるようにしましょう。

③女性の一人暮らしを連想させない

犯人はあらかじめ下見をすることもあるので、女性の一人暮らしとは思わせないことが大切です。特に外から見えるカーテンなどには十分注意し、男性もの下着を干すなどの工夫を心がけましょう。



●問い合わせ先

安全安心課生活安全担当

☎(580)1898

不法投棄は犯罪です

ごみの不法投棄は、山や街の環境を汚し、他人に大きな迷惑をかける犯罪です。市では警察と連携を取りながら、不法投棄者の調査をします。

違反した場合は、法律により5年以下の懲役、または1000万円以下の罰金という罰則が定められています。

ルールを守って正しくごみを出しましょう。

●問い合わせ先

◇市が管轄する道路および林道
建設管理課施設担当
☎(580)1883

◇市が管轄する山林
環境・最終処分場対策課環境
政策担当
☎(580)1886

◇ごみ袋に入ったごみ・その他
環境・最終処分場対策課廃棄
物・最終処分場担当
☎(580)1889

